

会報第 11 号
発行日 平成 17 年 9 月 30 日
発行・編集 V・G 槻輪
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/kirin

わがまち紹介

番田大樋と番田井路

高槻の治水について考える

月 日：平成 17 年 9 月
22 日(木)
場所：堤川コミュニティセンター 学習・現場見学
1 まえがき

9 月は台風シーズンで毎年何処かで災害が発生しています。
自然災害を封じ込められないにしても、被害を最小限にすることは出来ません。今回、高槻の排水・治水について考えようと番田井路を取り上げ実施

2、高槻の地形
高槻市域を中心とする淀川低地の地形は、排水が悪くて低湿な後背湿地や洪水危険度の高い氾濫平野が広い面積を占めています。この低地内には、新幹線、東海道本線、阪急京都線や多数の道路、河川堤防といった線状地物が錯雑し、さらに都市化の進行に伴って、大小さまざまな工場や住宅などの盛土が数多く無秩序に形成されてきた為、多くの排水条件不良な土地が生じている。

3、高槻の川の特性
高槻市域を流れる主要河川としては、地域の南東辺を画す淀川を筆頭に、南北に細長い市域のほぼ中央部を貫通する芥川とその支流女瀬川、市域東部を南流する松尾川などがあることができる。

四季彩 黄釣舟

9 月に入って台風 14 号も日本海へ過ぎ去った頃、友人の持つ北軽井沢(群馬県嬬恋)の別荘(に招かれて遊びに行つて来ました。浅間山の山麓を長野県から群馬県へと、彼の山荘へ向けてドライブした道すがら「山野草」の群生をみつけて写真に収めてきました。

釣舟草科、学名 *impatiens noli-tangere* (ツリフネ属、「私にふれるな」の意味)、ツリフネの学名。初秋頃に開花、釣り舟のような形で黄色いのでこの名前「釣舟草」に比べて葉がやや丸みを帯び、花の後の渦巻状の巻き方がゆるやか。山の木陰で花が葉の下に垂れ下がるようにして咲いている。T・N



この部分では、芥川左岸の排水を集めた番田井路が大樋によって芥川の川

改変
安満山南麓沿いに曲流する松尾川の現況水路が、等高線に平行しており、本来等高線を横切つて流れる性質を有する河川の流域としては、極めて不自然な様相を呈している。



15 世紀前期頃までに、安満庄の一部をなす松尾川扇状地でも開発が進められ、その耕地を松尾川の洪水から守るために松尾川の流路を現在のように人工的に固定するとともに、扇状地上の耕地に対する

灌漑用水を確保するために所々に溜池が構築されたとと思われる。

これは、芥川の川底(堤防)の下を横断する木管(番田大樋)によって、番田井路と、天正年間(完成した三箇牧井路を結ぶものであった。工事は承応 2 年(1653)に完成し、

この部分の松尾川の流路が現在のように固定されたのはいつ頃か、どのような事情によるものであったか、明確な証拠は残されていない。

しかし、淀川への流出口に近い大樋付近では、兩岸に広がる水田の標高 5.2 m に対して、芥川の河床は標高 6.6 m を測り、河床の方が 1.4 m 以上高い天井川となつている。

これを契機に、翌 4 年から高槻藩主永井直清により、番田の排水路(井路)掘削工事が行われた。

このように大井川は、人工的な築堤によって河道が固定された結果、堤内のみ土砂が堆積し、河床が上昇して氾濫の危険が増大すると再び堤防のかさ上げと河床の上昇とのいたちこっこいようによって形成されたものです。

その南方に広がる水田地帯の排水を円滑にするために大樋が必要とされた。番田大樋と番田井路

水利のみならず慶安 3 年(1650)高槻は大洪水に見舞われ、淀川沿いの村々では収穫が半減するなど被害を受けた。

10 月度行事予定

"地震観測所と阿武山古墳へ"

月 日：平成 17 年 10 月 20 日(木) 13:15 集合
集合場所：京都大学 阿武山地震観測所 本館正面玄関
高槻市奈佐原 9444 電話 694-8848
交通案内：市バス JR 摂津富田駅 公団阿武山方面
12:20 発 消防署前下車 徒歩約 45 分

11 月度行事予定

"神峰山寺と神峰山の森自然園"

月 日：平成 17 年 11 月 17 日(木) 9:45 集合
集合場所：神峰山寺山門(仁王門) 高槻市大字原 3301-1
交通案内：市バス JR 高槻駅 ① 乗り場 上の口・原大橋 行き 8:50 発 原立石下車 徒歩約 30 分